

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年11月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103276
法人名	株式会社 プロGRESS
事業所名	グループホーム 愛 愛
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野二丁目36番15号 (電話) 099-244-8876
自己評価作成日	平成27年6月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年11月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・1日の職員配置の基本を3.5人とし、基準を超える職員配置により、きめ細かなサービスの提供に努めている。
- ・排泄パターンの把握に取り組んでおり、できうる限りおむつやポータブルトイレなどを利用せず、最後までトイレにて排泄が行えるように支援することにより、身体面や生活意欲の維持向上を図り、寝たきりの生活にならないように努めている。
- ・主治医を含めた関係医療機関との連携、看護職員の配置により24時間の医療連携体制を整え、日々の健康管理から緊急時までの対応を充実させ、より安心安全に生活ができるよう努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は地域行事の夏祭りや公民館での催しなどに積極的に参加し、事業所行事の敬老会や運動会などに多くの地域住民の参加がある。幼稚園児との交流や看護学生・ヘルパー事業所の実習生・ボランティアの受け入れなど、日常的に地域と交流している。
- ・身体拘束廃止委員会で定期的な勉強会を実施し、対象となる事例検討などで、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアを実践している。言葉の拘束・虐待についても事例学習をしている。
- ・個々の排泄習慣を把握し、トイレでの排泄を大切にしている。さらにおむつを外す取り組みや排泄の自立を支援している。改善がみられた事例がある。
- ・利用者の生活歴や楽しみを大切にし、食後の片づけや掃除・洗濯物たみ、余暇活動では、ぬり絵や習字などを取り入れ、張り合いのある日々を過ごせるように支援している。
- ・管理者は職員を育てることに力を入れ、資格取得に向けた支援を行っている。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所理念はホーム内の目に付くところへ掲示し、いつでも確認できるようにしている。また、各自理解したうえで業務に努めている。	理念は玄関やトイレ等、目につくところに掲示し確認しながら日々のケアを行っている。パンフレットにも掲載している。ミーティングや会議等で確認し、理念をもとに具体的なケアについて話し合っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者様と一緒に買い物や散歩などで近くのお店を利用したり、地域の方との挨拶を通して、地域の一員として暮らせる事を大切にしている。	地域行事の夏祭りや公民館での催しなどに積極的に参加している。事業所行事の敬老会や運動会などに多くの地域住民の参加がある。幼稚園児との交流や看護学生・ヘルパー事業所の実習生・ボランティアの受け入れなど、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	日々の交流や行事参加時に地域の方々からの疑問や不安にお答えする事で、事業所、認知症への理解をして頂けるよう情報提供に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者の現状、それについての支援の状況などの報告を行う。それに対する意見、要望を職員ミーティングで検討し、サービス向上出来るよう努めている。</p>	<p>会議は定期的開催している。事業所の現状報告や地域行事の案内・外部評価の報告を行い、意見交換を行っている。当会議における提案で公民館のトイレが洋式に改善され感謝されたこともあった。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>日常のサービス提供での疑問や困難事例をその都度連絡、相談し、互いに情報の共有に努め、協力できる関係性を築いている。</p>	<p>市の担当者とは認定更新時や必要に応じて情報を交換してアドバイスを貰っている。市主催の研修会にも積極的に参加して協力関係ができている。生活保護の担当者とも連携を図っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については、全ての職員が利用者様の現状を理解し、身体拘束をしないケアを行っているが、継続して取り組めるよう、定期的に研修、検討を行っている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会で定期的な勉強会を実施し、対象となる事例検討などで、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアを実践している。言葉の拘束・虐待についても事例学習をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされないことがないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全ての職員が、利用者様の身体的、精神的な小さな変化も見逃さないよう日々の観察に注意することで、虐待防止に努め、又定期的な研修により理解を深めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度については、ホーム内でのミーティング、研修への参加で理解する事に努めている。また、利用者様に合わせて活用できるよう支援している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入退居前、個人及び家族との面談で十分説明を行い理解・納得して頂いている。改定が合った場合も書面にて説明し同意の署名を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や毎月の電話での状況報告、運営推進会議等で意見、要望をお聞きし、職員ミーティングで検討、実践できるよう努めている。</p>	<p>利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いている。家族からは面会や電話・行事参加時などの機会に、意見を出してもらう工夫をしている。出された要望により、運動会を再開するなど運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の全体ミーティングの他、随時職員の意見を聞ける体制である。また職員からの意見要望は、ミーティングで職員全員で検討している。</p>	<p>管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、各ユニット毎のミーティング時に職員の気づきや意見・提案を聞き、全体の職員会議で話し合い、反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。入浴介助やレクリエーション等についての意見が出され、職員の意見の反映がなされている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>運営者は、管理者と職員の日々の努力や実情を常に把握し、働きやすい環境作りを考慮し、職員処遇へ反映や向上心を持って働けるように配慮している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の技術や知識向上を目標に年間の研修予定を立て能力の段階に応じた研修に参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所での研修やグループホーム協議会へ参加し、他事業所との情報交換を行う事でサービスの質の向上につなげている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の安心を確保する為、本人の様子観察、会話、訴えなどに耳を傾け、困っている声・要望を見つけ、その人らしい生活をされる事に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>御家族が面会に来られた際の要望・意見を参考に御家族が安心して入居して頂く環境づくり、協力体制に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・家族が必要としているサービスを提供できるよう施設見学、お試し入居して頂き、見極めと支援に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様の尊厳を守り、他入居者様の方々とも仲良く過ごして頂けるよう良好な人間関係作りにも努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご本人と御家族の絆を大切にしながら日々の様子など各利用者様の連絡帳に記入し、面会時近況を報告。常に御家族の協力支援に配慮している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>利用者様の会話を日々傾聴する事でこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所の関係が途切れないように努めている。</p>	<p>利用者は近隣地域に住んでいた関係で馴染みの親戚や友人知人の訪問が多く、訪問の際はお茶を出すなどして継続的關係が途切れないよう働きかけている。行きつけの理美容院の訪問利用や自宅訪問などに対応している。家族の協力で外出や外泊・墓参などに出かけている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様の性格、生活歴など把握し、1人ひとりが孤立せず利用者様同士が関わり合い支え合って生活できるように努める。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退去後の状況経過も把握したり、ホーム便りなどを送付して、本人や御家族の相談に対応できるよう支援に努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の様子や発言、話された事等を記録に記入し、1人ひとりの思いや暮らし方の希望・意向の把握に努め、職員が意見交換し、介護計画の見直しを確認しあっている。	日々の関わりの中で、表情や言葉・しぐさなどから思いや意向の把握に努めている。職員も気づきを記録し、職員間の情報交換を密にしている。把握が困難な場合は、家族からも情報を得て、職員間で話し合い、本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時に御家族様や関係事業所から聞き取りを行い生活暦等の把握に努めている。また、利用者様の発言等から新たな情報を得たときはその都度関係者へ確認を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員全体で利用者様一人一人の状態の観察を行なうと共に、担当の職員を置く事で日々の状態を把握している。また、変化があった場合はその都度職員間で確認、検討を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の状態、変化を情報源とし、御家族、主治医他関係者の意見を取り入れながら介護計画の立案を実施している。本人、御家族からの要望を取り入れられるよう最大限に考慮している。	本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、職員で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活の様子やケアについて個別記録に記入し、確認している。実践時その都度職員間で検討すると共に、月に1度職員会議にて情報交換を行い、ケアの見直しなど話し合っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>1人ひとりを支えるために、そのときに応じた支援を行い、ニーズに対応するようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員、地域包括支援センター、ボランティアなどの関わりを作り、安全で豊かな暮らしができるよう支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>随時、主治医に報告、相談を行い、月に2回の主治医の往診を行っている。家族からの要望あれば、直接主治医からの説明を受けたり、他の病院等への受診も支援できるようにしている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。必要があれば、職員が同行し受診の結果は共有している。協力医療機関の往診が月2回はある。歯科訪問診療もある。緊急時の対応など連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>身体面、精神面の異常、変化に気づいた時は、第一に看護職員へ報告行っている。看護職員は主治医へ連絡を行い、個々の利用者様の状態に合わせた診察を受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時、主治医や他医療機関との情報交換を迅速かつ密に行い、利用者様に必要な支援が適切に受けられるよう、状態把握を共に行っている。また、主治医以外にも他科目の医療機関と協力提携している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医協力の元、御家族へターミナルケアについてのアンケートや話し合いの場を設け、御家族の考えを聞くと共に、事業所の状況、方針について説明を行っている。家族、主治医、事業所で協力して支援できるよう体制を整えている。</p>	<p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い、本人や家族の意向を確認し、医師や訪問看護を含む関係者が連携して家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの部屋の準備もしてある。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的に緊急、災害に対する、研修訓練を行っている。又、実際にあった急変等の事案に対してその都度対応方法等の確認、検討を行っている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力も頂きながら、年2回消防訓練を行い、災害時に迅速に対応できるようにしている。訓練時には地域の方々に案内をし、参加の呼びかけを行っている。</p>	<p>年2回消防署立会いのもと、昼夜想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置が設置され、緊急連絡網に町内会長も登録するなど地域住民との協力体制もできている。災害時の食糧等の備蓄もある。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に敬う気持ちを基本に考えながら、利用者様一人一人に合った声かけや、対応ができるよう、職員ミーティング等の機会に確認、検討を行っている。	利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意し、ミーティング等で研修を行っている。名前は苗字で呼んでいる。オムツ交換やトイレ誘導などでは羞恥心に配慮しさりげなく支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	まず、ご利用者様の希望を聞く声かけを行っている。ご自分で表せないご利用者様には選択できるような声かけを行い、出来るだけ自己決定ができるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様1人ひとりの生活を大切に、その日の体調や気分に合わせて、常に無理なく1日過ごせるようにケアを行っている。又閉じこもりや不活性にならないよう注意している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者様の意思や状況に応じて行っている。また、着替えも沢山の中から選べるよう、家族の協力をお願いしながら支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は栄養士による献立、調理を行い、日頃の栄養管理に気を付け、利用者様には食後の手伝いをして頂く。また、楽しく食事が摂れるよう食事中も話しかけを行い、雰囲気作りに努めている。	利用者の嗜好に配慮した献立や食事形態を工夫して、食事を提供している。個々の力量に応じて下膳等を職員と一緒にしている。節分やおせち料理等の季節の行事食が楽しみなものになるよう工夫し、クリスマス会や敬老会には家族も参加している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や栄養バランス、声かけや会話などで摂取ペースにも気をつけている。ご利用者様の嗜好やタイミングのよい声かけで水分摂取の確保ができるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後1人ずつ声かけ、誘導を行い、その方の状態に応じた口腔ケアを行っている。訪問歯科による定期的な口腔内のチェック治療を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時での声かけ誘導を行い、その方の状態に応じて排泄の見守り、介助を行っている。記録をとることで排泄パターンを把握し、失禁やオムツ使用を減らすよう努めている。夜間も出来るだけトイレ誘導を行い、排泄していただけるよう支援している。	排泄チェック表で、個々のパターンや習慣を把握し、誘導によるトイレでの排泄を大切にしている。オムツを減らす取り組みで夜間もできるだけトイレでの排泄を支援している。オムツからリハビリパンツや布パンツに変わった利用者がある。下肢浮腫も取れるなど改善された事例がある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックは毎日行い記録している。水分摂取、運動、食事の工夫などで便秘予防に努めている。できるだけ緩下剤の使用を減らすよう支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1人ひとりの健康状態を把握し、身体状況、希望に添うよう心掛けている。	入浴前に健康状態のチェックを行ってから入浴している。基本的には週3回であるが、個々の身体状況や希望に添った入浴ができるように対応し、入浴を楽しめるように支援している。入浴後、皮膚の乾燥している利用者には保湿クリームを塗っている。入浴をいやがる利用者には職員が工夫しながら声かけを行い誘導している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午後1時間程度午睡の時間を設け、体を休めて頂いている。夜間入眠前温かい飲み物など提供し、安眠に心掛けている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服一覧表、変更ノートにて内容確認を行っている。薬の受け取り時、薬局の方と内容確認、数量など確認を行っている。服用時は職員が口腔内に入れて服用後確認行う。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食後の食器拭き、洗濯物たたみ、掃除等、1人ひとりできる事を担当して頂いている。得意な事や詳しい事の会話や活動が行えるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>気温、天候を見て、季節ごとのドライブ、遠足を計画し外出している。日常的にも散歩や日光浴、買い物など行っている。御家族にも外出の協力の声かけを行っている。</p>	<p>日常的には、近隣を散歩したり、買い物に出かけている。個別にドライブや自宅に立ち寄りたりもする。計画を立ててコスモスの花見やソーメン流し等にかけている。家族の協力による外出や外食・墓参の支援もしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持はご遠慮いただいている。外出、買い物時は事業所立替で職員と一緒に好きなものを選び買い物を楽しんでいただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>年賀状、暑中見舞いなどの手紙のやり取り、家族、知り合いへの電話ができるよう努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室内は落ち着いた家庭的な色調で統一し、周りは静かな環境である。室内温湿度の管理行っている。毎月季節に合わせた飾りを展示し、季節を感じられるよう配慮している。</p>	<p>リビングは広くて明るい。温湿度の管理がなされて採光や換気に配慮し清潔である。利用者の作品や季節を感じられる飾りや花が活けてある。食事を作りながら職員は利用者とは話し見守りも行っている。ソファも多く設置し、居心地よく過ごせるような工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者様個々に合った居室作り、ホールでは楽しく話して過ごせるような席の配置、ソファの位置を考え落ち着いて過ごせるような空間作りを行っている。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>個々の居室には本人の大切にしているものや馴染みの物、御家族の写真などを置いて、落ち着いて居室で過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居室の入り口には花の名前が付けてある。電動ベッドとタンスが備え付けである。本人と家族とで相談しながら位牌や時計・椅子・写真・衣装ケースなど、使い馴れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>生活の中で必要な場所は、分かりやすく掲示物をしたり、自分でできる利用者様には声かけで誘導しできるだけ自立を促す。また、安全に過ごして頂けるよう、建物内には必要最低限のものだけを置くようにしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない